

◎平戸市総合戦略策定委員会での各委員からの意見（第2回～第4回）

基本目標	分類	各委員からの意見	委員	策定委員会	対応等	戦略記載等	
基本目標1 雇用の促進	就労機会の拡大	企業誘致行政合同対策室の設置(複数自治体で企業誘致)	田淵	H27.7.13	・地理的条件、インフラ整備等で他自治体より条件的に厳しく、営業活動で不利となるため、困難。	商工物産課	
		平戸市内の求人事業所の認知度のアップ(インターンシップの推進、事業所見学バスツアーの実施、企業ガイドブックの作成、市のホームページに事業所紹介を掲載、労働局のホームページで公表している若者応援企業宣言事業への参加)	富崎	H27.7.13	・将来的にすべき事と認識している。出来ることから取り掛かっていきたい。	商工物産課	引き続き協議検討
		ミニ面接会等の定期的な実施(介護関係のミニ面談会を公民館等での開催)	富崎	H27.7.13	・現在、不定期ではあるが実施している。	商工物産課	引き続き協議検討
		高齢者の経験を活かした、高齢者自身の就労機会の拡大(人生経験豊かな人材と捕らえ)	田中	H27.11.10	・現在は若年層の定着、流出防止に力を入れている段階であるが、「就労機会の拡大」の項目に、「高齢者の経験を活かした就労機会の拡大」について記載。	商工物産課	○
		雇用の確保、新たな雇用を創出、雇用の場を促進。	竹田	H27.11.9	・工業団地整備により新たな企業立地の受け皿を整備 ・創業支援計画を策定(H26.10)、創業支援事業実施	商工物産課	○ (工業団地整備事業)
	就労環境の整備	労働条件整備のためのセミナー実施(給与体系の見直し、雇用管理、労働法令等の遵守等に係るセミナー開催)	富崎	H27.7.13	・ハローワーク、労働基準監督署と連携し取り組みを行うとの視点で、「市内で働きやすい環境づくり推進…」について記載。 (労働条件を整備し、短期での離職者減少を図りたい。)	商工物産課	○
		核となる企業を育成する。金融機関と平戸市関係機関で随時協議。	松尾	H27.7.13	・金融機関等との協議は随時行っている。	商工物産課	引き続き協議検討
		地域内で対応できることは市内業者に発注、市内業者双方で努力する仕組・意識改革	松尾	H27.7.13	・移住定住環境整備事業等でも一定のインセンティブを設け市内業者へ発注するよう促している。 ・企業間取引きにおけるマッチングは産業振興財団で実施。	商工物産課	○ (移住定住環境整備事業)
	新たなビジネスの創出	地元高校と地元企業の雇用創出タイアップ対策	田淵	H27.7.13	・将来的にすべき事と認識している。出来ることから取り掛かっていきたい。	商工物産課	引き続き協議検討
		ニッチ産業を企業誘致(大企業が市場規模で却下した事業)	松尾	H27.7.13	・現在のところ、ニッチ産業は不安定要素が高く誘致企業対象としては考えにくい、有望な事業があれば検討したい。	商工物産課	引き続き協議検討

	市	市内の企業帯同で市長のトップセールスを定期的実施	松尾	H27.7.13	・物産展等においてトップセールス実施している。	商工物産課	○
		地域産業とのコラボによる新商品開発、販売(高校生プロデュースによる)	行成	H27.7.13	・企業と高校との間で実施している事業がある。(例:バッカジェラート)	商工物産課	○
	農林業の振興	遊休農地の有効活用	寺田勝	H27.7.13	・農地中間管理機構(農地集積バンク)を活用し遊休農地解消。 ・新たな担い手に提供できる体制づくり。	農林課	○
		一次産業の次世代への取り組み(後継者対策)【重複】	松山	H27.9.3	・「新規就農総合支援事業」実施中。H27から「平戸式もうかる農業実現支援事業」実施し、後継者育成実施	農林課	○
		木質バイオマス利活用 ～ ダンジクも含まれているか?	赤木	H27.11.9	・木材のみ想定(乾燥しチップ状)	農林課	
	水産業の振興	沿岸漁業者の集団経営化による雇用創出(新たな雇用創出)	豊増	H27.7.13	・既存の雇成型漁業(定置網)の充実で、更なる雇用創出を図る。	水産課	○
		六次産業化の推進による、水産物の高付加価値による収益力の強化	豊増	H27.7.13	・「6次産業化推進事業」により生産等から加工・販売まで行う6次産業化推進	水産課	○
		藻場造成事業による資源の回復と資源管理の強化	豊増	H27.7.13	・現在、資源管理型漁業推進事業実施中 また、「磯焼け対策」として新たな事業模索中	水産課	○
		一次産業の次世代への取り組み(後継者対策)【重複】	松山	H27.9.3	・「漁業就業者確保育成総合対策事業」実施中。 現在、漁業担い手の確保・育成策を模索中	水産課	○
		水産関係が載っているが、真新しいものがない。策定までに水産振興協議会とすり合わせをした上で新規の戦略案を作してほしい。	豊増	H27.11.9	・水産課で新たな事業検討	水産課	○
		周遊バスの運行	周遊バスの運行	古川	H27.7.13	・世界遺産等の新たな観光資源を活用し、市内周遊できる環境整備を検討(世界遺産等の新たな観光資源を活用した2次交通体制整備)	観光課
外国語のホームページの作成			古川	H27.7.13	・現在、観光協会HPは外国語対応。市HPもリニューアルした後(H28.3～)は外国語対応となる。	観光課	○
外国語の案内板の充実			古川	H27.7.13	・多種多様化する観光ニーズにあわせ、外国語対応案内板について整備を検討(観光誘客案内板やパンフレット等の整備)	観光課	○

基本目標2 産業の振興	観光の振興	博多ー平戸ーハウステンボスの高速船の復活	古川	H27.7.13	・現状では採算ベースでの定期船化は困難 ・新たな観光ルート形成、ターゲットの再検討が必要。	観光課	引き続き協議検討
		福岡・長崎空港・佐世保等からの高速バス・直通バスの誘致活動	古川	H27.11.9	・現状では費用対効果の面で実施困難 ・新たな観光ルート形成、ターゲットの再検討が必要。	観光課	引き続き協議検討
		観光ガイドを充実すべき、またガイドについて、HP等で分かるように広報すべき。	古川	H27.11.9	・大学連携等による新たな人材育成について検討していきたい。	観光課	○
		観光の全体的な戦略が分からない。	荒木	H27.11.9		観光課	
		観光の主な事業も代り映えがしない。	荒木	H27.11.9		観光課	
		観光面で歴史関係のものがほとんど入っていない。	荒木	H27.11.9	基本目標2 産業振興 ウ)観光の振興【主な事業】世界遺産…、観光施設… 基本目標3 子育て支援 ウ)教育環境の整備【主な事業】平戸学推進事業に包括的に含まれるものと考えている。	文化交流課	○
		平戸市の文化財の登録件数を増やす等のKPIを設定したら？	荒木	H27.11.9	文化財の指定については、対象物件の価値が重要であり、数値目標を設定すべき案件ではないと考える。	文化交流課	
		学校独自でスクールツーリズムという農業体験を行っている。このスクールツーリズムを平戸市の観光・民泊等につなげる様なことが学校と地域の連携で出来れば良いなど思っている。特に観光関連で特産品マップ作成やパンフレットなどに対しても若者の感覚・アイデア等を入れられるのではないか。このようなことをすることにより高校生自身も平戸の良さを自分たちで発見していけば、市外に出ずに地域の為に何かしようと思ってくれるのではないか。	行成	H27.11.9	・主に農業高校との連携が必要となってくることから、引き続き意見交換を行いながら事業化を図っていきたい。	観光課	
		空き店舗に入る業者の業種を市が事前に指定して公募する「逆指名制度」の実施	古川	H27.7.13	・競争力を高める魅力的な店舗の出店を促していきたい。その上で、現段階では業種指定は考えていない。	商工物産課	引き続き協議検討
		商店街の活性化(空き店舗の定期的な活用、農産物直売所での販売)	行成	H27.7.13	・短期間の出展を行うチャレンジショップについて、事業を模索中。	商工物産課	○
		産業の育成と支援の部分、企業誘致ではなく、市内に事業所を構えている企業を成長させる育成支援をやっていくという目線のKPIを検討してほしい。	松尾	H27.11.9	・商工物産課とするも、適当なKPI設定まで至らず。	商工物産課	引き続き協議検討

産業の育成と支援	外から企業誘致するより地元の企業に新規雇用を促すようなものを戦略としてたてるべきではないか。	豊増	H27.11.9	・新たな企業誘致に併せ、既存事業所の設備投資時の補助等、支援を行っている。	商工物産課	○	
	向こう10年位のスパンで、県外から企業誘致する位の規模の、固定資産の減免をする等の施策を戦略の中に盛り込んでほしい。	豊増	H27.11.9	・設備投資時の補助等、新規事業展開、既存事業拡大といった雇用拡大に繋がる施策を行いたい。(税減免は考えていない。)	商工物産課		
	空き店舗活用について貸したいが、リフォーム等をしないと貸せないというような部分に支援をしてほしい。	竹田	H27.11.9	・「空き店舗等活用促進事業」で改装補助(200万円×5件×5年間)実施中	商工物産課	○	
基本目標3 子育て支援	子ども・子育て支援の充実	小・中・高生が乳幼児と接する機会～家庭を持つことの重要性等についての理解を深める	赤木	H27.9.3	・学校授業との兼ね合いで、事業検討したが立案ならず。		引き続き協議検討
		子供の貧困対策についての事業(平戸でもあると聞いたので)	赤木	H27.11.9	・部会提案事業として「平戸版ネウボラ検討事業」「地域を繋ぐ子育て支援システム～地域から切れ目のない支援～(平戸モデルの構築)」を提案したが、事業化までは至らず。 検討すべき事項として、引き続き協議を継続する旨記載予定。	保健センター	引き続き協議検討
		保育所はどこも定員割れをしているはず、そこを問題として持ち上げるべきではないのか?	田中	H27.11.9	・保育料を改正し国基準より低設定、多子世帯減免により子育てしやすい環境づくりに努めている。	福祉課	○
	結婚・妊娠・出産期に向けた支援						
	農業・漁業のコラボによる自然塾等を通じた子育て支援策	田淵	H27.7.13	・部会提案事業の「地域休日等子ども預かり支援事業」を提案したが、事業化までは至らず。 検討すべき事項として、引き続き協議を継続する旨記載予定。	福祉課	引き続き協議検討	
	平戸の魅力を高校生が発信する取り組みの充実	行成	H27.7.13	・部会提案事業の「青少年による平戸発信事業」で小中高校生の取り組みを検討したが、実施困難(以前、同じような取り組みをしたが学校負担が大きく困難) ・個別対応可能		引き続き協議検討	
	次代を担う子ども達が主体的に関わっていける目標、仕組み	荒木	H27.9.3	・平戸学推進事業の充実 ・KPIとして、「小・中学生のふるさと検定取得者の割合」設定		○	

教育環境の整備	ホームページへ基幹産業の仕事の紹介【重複】	古川	H27.9.3	・既存の市HPを充実 ・第1次産業魅力発見事業(イメージアップPV製作事業)について事業化検討。		○
	食育について、農業・漁業の良さを子どもたちや農業高校等と連携して平戸の食の魅力を発信。	古川	H27.11.9	・主に農業高校との連携が必要となってくることから、引き続き意見交換を行いながら事業化を図っていきたい。	保健センター	引き続き協議検討
	「算数・数学検定事業」の部分、なぜ数学なのか？他の教科はないのか？	田中	H27.11.9	・一般的に県平均を下回っており全般的な学力向上対策は実施中。まずは「算数・数学」から	学校教育課	
	「絵本はじめましてブックスタート事業」事業概要として移動図書館が挙げられているが、どのような活動をしているのか？	田中	H27.11.9	・「移動図書館」は行っていない。当初予算策定時に絵本ミニブックモービルとして、保育園、幼稚園及び子育てサークルなどで読み聞かせ、移動絵本図書館として訪問実施を予定していたが、事業検討する中で内容変更。事業概要に誤って当初の予定内容を記載したもの。	生涯学習課	
平戸市への移住の推進						
	スギ花粉避粉地体験セラピーや重伝建で修復した空家の利用を通して、体験・滞在から移住へと、方向性をつける	田中	H27.7.13	・既存事業(移住定住環境整備事業におけるひらど仮暮らし体験)の充実で、重伝建地区の空き家活用について検討。	文化交流課	○
	平戸市独自のリフォーム助成事業	寺田孝	H27.7.13	・現在、県事業「住宅性能向上リフォーム支援事業」で実施中 ・H28から新たな内容となる見込み(現在のところ、緊急経済対策交付金でH23～H24に行った事業と同内容事業は予定していない。)	まちづくり課	
	現在平戸で働いている人が市内に居住する施策(平戸市移住定住環境整備事業に関連)	寺田孝	H27.7.13	・新築住宅は年間40～50件建築されている。 ・市内業者により建設された新築住宅の補助額は、市外業者建築の補助額より高く設定し、少しでも市内業者に仕事が入るような仕組みとしている。	地域協働課	○ (移住定住環境整備事業)
	買い物難民対策の充実(移動販売車への補助、直売所と商店街が連携した公民館での朝市、学生らによる「買い物応援隊」、買い物タクシー等の整備)	古川	H27.7.13	・「高齢者買い物支援事業」について検討		○
	高齢者等に対する買い物対策	竹田	H27.11.9	・「高齢者買い物支援事業」について検討		○
安全・安心な町づくり	防犯についての記載してほしい。特に防犯カメラ。	松山	H27.11.9	・防犯の項目について追加記載。	市民課	○

基本目標4 移住・定住の促進	魅力ある町づくり	平戸北部を平戸市の核とした街並の整備(観光・商業・製造・水産加工等ゾーン整備)	松尾	H27.7.13	・平戸市都市計画マスタープラン(H25～H45)に基づき、平戸地域は「歴史・観光・商業・拠点機能をあわせもったにぎわいのあるまち」を目指すこととしている。	まちづくり課		
		商店街の整備(4商店街一本化、観光と情報共有、おもてなし協力の義務化)	松尾	H27.7.13	・現時点では商店街のコンセンサスが得られないため困難。	商工物産課		
		空家バンク、移住者への斡旋仲介管理を市内不動産業者と平戸市がタイアップし運営	松尾	H27.7.13	・市内不動産業者と連携している。	地域協働課	○	
		【女性の地位向上】女性の意見を言う場の創出	赤木	H27.7.13	・「就労環境の整備」での「男女共同参画社会推進事業」等、男女がお互いの人権を尊重し、あらゆる活動に参画できる社会の実現を図っていく旨記載。		○	
		跡継ぎ応援事業の取り組み	田淵	H27.11.9	・農業後継者、漁業後継者育成対策事業は実施中。H27年度から、平戸式もうかる農業実現支援事業等実施している。		○	
		跡継ぎの確保	竹田	H27.11.9	・農業後継者、漁業後継者育成対策事業は実施中。H27年度から、平戸式もうかる農業実現支援事業等実施している。		○	
		食の大事さ、食の安全さ、自然環境の豊かさをもっと発信してほしい。	田淵	H27.11.9	・市HP等で引き続き情報発信していく。		○	
		県立学校であっても市立の小中学校や地域と連携していければいいと思う。	行成	H27.11.9	・現在、平戸高校と南部中学校で地域の行事等の連携等有り。 ・連携できる場所はお互いに協力が大事となる。		○	
		移住に向けた情報発信	インターネットによる空き家バンクの情報発信	古川	H27.7.13	・現在、HPで情報発信中		○
			ホームページへ基幹産業の仕事の紹介【重複】	古川	H27.9.3	・既存の市HPを充実 ・第1次産業魅力発見事業(イメージアップPV製作事業)について事業化検討。		○
その他	今後、事業を民間に委託していく事を考えているのならば、勉強会や相談窓口がほしい。	赤木	H27.11.9	・必要に応じ行っていきたい。	地域協働課	○		
	主な事業の部分で、連携する団体が必要になると思うので、事業概要の横に想定される団体等の記載した方が分かりやすい。	松山	H27.11.9	※現時点では想定されれう団体等の記載予定していない。				